

| | | | | | |
|------|-----------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 中国語リスニング【GSP生用】 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 関 梅 | 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2年生 |

主題と概要

この科目はGSPクラスの中国語A/Bを履修済みの者を対象とします。
 この科目の内容は、中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「聞く、話す」に重点を置いて、中国語のリスニングの力を伸ばしていくことをメインとします。
 この授業では、中国語の発音を確認しながら、短文の音読トレーニングを行います。長文については、その内容の意味を理解してからディクテーション形式でリスニングのトレーニングをします。
 この講義を受講することにより、中級中国語以上の会話や長文を聞き、おおよその内容を理解することができるようになります。
 この講義の目標としては、HSK（中国語レベル測定試験）3級レベル以上のリスニング力を身につけることです。

到達目標

この講義の到達目標は中国語検定試験3級・HSK3級レベルです。
 具体的には以下の通りです。
 簡単な会話の聞き取りができ、その会話についての質問に答えることができるようになる。
 長文のディクテーションを完成させ、その内容を理解し、更にその内容についての4択問題を解答できるようにする。
 長文の音読ができるようになる。
 なお、新型コロナウイルス感染症の感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には、別途個別に対応します。

提出課題

毎回、授業中に行ったリスニング問題のトレーニングペーパーの提出を求めます。
 次週の授業までにHSKについての課題を完成させ、提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出した課題については、解答を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。
 最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復習をします。

評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。
 具体的な割合：
 ・平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）30%
 ・中間テスト30%
 ・期末テスト40%
 詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。

履修にあたっての注意・助言他

この講義は半年以上の中国語学習経験が必要です。
 また、受講の際に注意な取り組み、授業中の積極的態度は大いに評価します。
 また授業外での予習復習は欠かせないため、怠ることなく努力しなければいけません。
 新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの変更が生じる可能性があります。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

適宜、授業中に資料を配布し、課題については本学のポータルなどを通じて資料を配布する。

授業計画

- 1.ウォーミングアップ・学力レベルチェック
- 2.音読：リスニング
- 3.復習：ディクテーション
- 4.復習：音読：リスニング
- 5.復習：ディクテーション
- 6.復習：音読：リスニング
- 6.復習：ディクテーション
- 8.中間まとめ&テスト
- 9.HSKリスニングトレーニング
- 10.HSKリスニングトレーニング
- 11.HSKリスニングトレーニング
- 12.HSKリスニングトレーニング
- 13.HSKリスニングトレーニング
- 14.HSKリスニングトレーニング
- 15.模擬テスト&解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | | |
|--------------------------------------|-----------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | <input type="radio"/> | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | <input type="radio"/> | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | <input type="radio"/> | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

リスニングをレベルアップさせるには授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にMoodleにアップした音声ファイルを聞くことを宿題としています。
 また、HSK試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていきますので、そのための勉強時間も確保しなければいけません。
 目安として、学習時間は一日40分～1時間が必要です。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、言語部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成業の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていきます。
 具体的には、アクティブ教室で講義を行い、音声はPodとコードレススピーカーを使用します。
 リスニングの内容や文法説明については教室にあるプロジェクターを利用します。
 宿題としてのリスニングの音声ファイルの配布はMoodleを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整します。